



▲日本将棋連盟会員の皆さんのわかりやすい指導で、すぐに駒の動かし方を覚えました(写真は米内沢小児童クラブ)



▲相撲の礼儀作法にも生かそうとちゃんこ料理づくりに取り組んだ前田小相撲部の児童たち

方を指導していただきました。親子で役割を分担しながら鍋が出来る上だと早速、大きな茶碗に盛りだちちゃんこを食べ、元力士が作る「本物の味」を堪能しました。

「第9回子どもたちの伝承芸能発表会」が3月8日、市交流センターで開催され、子どもたちが、地域に伝わる伝承芸能を熱演しました。主催は青少年育成北秋田市民会議鷹巣支部。伝承芸能の紹介や子どもたちによる継承活動への取り組みに対する激励などを目的として平成11年度から毎年開催されてきました。会場では、招待された市内の福祉施設を利用するお年よりなど約150人が発表を見守りました。出演したのは、鷹巣西小学校鷹巣祇園太鼓チーム、竜森小学校(上舟木駒踊り)、鷹巣南小学校(七日市奴踊り)、綴子下町子ども会(獅子踊り)の4団体。来場者は、子どもたちが披露する太鼓のリズムカルなバチさばきや、動きのそつた伝統の舞に大きな拍手を送っていました。

市伝統文化こども塾「将棋教室」が、2月まで11回にわたり、各地の児童館や公民館などで行われました。教室は、子どもたちが日本の伝統文化を体験し、次世代へ継承することなどを目的として実施しているもので、昨年続き今年で2回目。日本将棋連盟の会員のみなさんのわかりやすい指導で要領を覚えると、対戦では、数手先を読みながら駒をスムーズに運ぶ子、四方をふさがれ頭を抱えこむ子など、みんな真剣に将棋版に向かっていました。

子ども将棋、熱戦を展開  
伝統文化こども塾「将棋教室」

前田小学校相撲部親の会による「ちやんこ鍋講習会」が3月2日、前田公民館で開かれ、親子で作ったちやんこ料理に舌鼓を打ちました。参加したのは、相撲部員や親の会のメンバー約50人。ちやんこ鍋作りを通して、親子のふれあいを深めるとともに、調理法や食事の作法を学ぶことで相撲競技の礼儀・作法に生かそうと、本年度の家庭教育支援事業の一環として行われたものです。講師は、湯沢市でちやんこ専門店「浦風」を営む元力士の長澤幸一さん。「鶏つくねちゃんこ鍋」の作り

親子でちやんこ料理に舌鼓  
前田小学校相撲部の親子が講習会

元気いっぱい！に郷土芸能を発表  
子どもたちの伝承芸能発表会



◀鷹巣南小学校は伝統の七日市奴踊りを発表

勇壮な駒踊りを披露する▶竜森小学校の男女児童6人

高鷹大学「俳句クラブ」展

鷹巣地区の高齢者講座・高鷹大学「俳句クラブ」の皆さんが次のとおり展示会を開催します。今年度のクラブ活動で創作した各会員最高の一句を出展します。皆さんの力作を鑑賞してみませんか。

会場 北秋田市交流センター

展示交流ホール

期間 3月17日(月)～

4月13日(日)



学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会

もりよし文化交流会が2月10日(日)、森吉コミュニティセンターで開催されました。

ゲストの火まつり太鼓を皮切りに、子どもたちによる日舞・お琴の演奏・着物の着付け(帯結び)・レクダンス・詩吟・民謡・合唱・ダンス(こども・大人)と続き、最後はゲストのストーンレークスによる演奏が行われ、満席の会場から大きな拍手が送られました。また、ホール前にはビーズ愛好会・こぎんの会・もりよし写真クラブ・金作之助舎友会・文集『母のひと

多彩な活動成果発表で交流

森吉公民館「もりよし文化交流会」



◀火まつり太鼓も出演し、交流会の盛り上げに一役買いました

み』の作品が展示され、来場者は独創性あふれる作品の数々にじっくりと見入っていました。

阿仁根子の民俗文化を学ぶ

合川公民館「ろばた講座」

「合川ろばた講座」が2月21日、合川農村環境改善センターで開催され、60名が聴講しました。

この講座は、「明日に向けた社会学」をテーマにした市民講座で、今年30年目を迎えました。

本年度第2回目は、合川地方史研究会、合川文化財保護協会との共催で、阿仁の森ぶなホテル経営の山田博康さんを講師に、「阿仁の風土に生きる」と題して、伝統ある阿仁根子地区のマタギや番楽などについて学習しました。山田さんは、「子どもの頃のにぎやかな根



◀阿仁根子のマタギや番楽について学んだ「ろばた講座」

子であってほしい。地域を何とかしなければ」などと、過疎、高齢化など地域が抱える問題への取り組み、今後の地域のあり方などについて思いを述べていました。

おいし～いさくらもちの出来上がり！

阿仁公民館「チビッコさくらもちづくり」

児童を対象とした阿仁公民館主催のさくらもちづくりが2月23日に開催されました。かわいいエプロン姿の子どもたちは、始めに餅の皮作りに挑戦。白とピンクの生地をホットプレートで伸ばして焼き、見事まん丸に焼き上がりました。

講師の先生に「お店で売ってもいいくらい！」と誉められた女の子や、生地を伸ばしすぎてビッコさくらもちになった男の子もいたり、皆楽しそうに作業をしていました。最後にあんこを包み桜の葉を巻いて出来



◀上手に焼けたかな？チビッコがさくらもちづくりに挑戦！

上がり！自分達で作ったさくらもち、どれも個性豊かでおいしそうに仕上が、味の方も格別ようでした。